

第2回レドックス・酸化ストレス・フィトケミカルズ生体計測研究会

2nd B-ROPs (Biometrics of Redox, Oxidative Stress, and Phytochemicals Study Group)

～Web (Zoom)・現地開催～

日時： 2020年8月7日(金) 13時00分～

場所： 島根大学医学部出雲キャンパス 国際交流ラウンジ

会費： 無料

プログラム

・開催挨拶 (13:00-13:05) 谷戸正樹 (島根大学・眼科学講座)

講演第1部 (13:05-14:45)

座長：海津幸子 (島根大学・眼科学講座)

13:05-13:25

Inactivation of bacteria and viruses with 222-nm Ultraviolet C

○厚井 融 (ウシオ電機株式会社)

13:25-13:45

コンタクトレンズの紫外線および可視光線の分光透過率

○石場義久 (山本光学株式会社)

13:45-14:05

サンテグラジェノックス/ウェルビジョンの開発の経緯及びデータから読み解く製品特性

○田中祐樹 (参天製薬株式会社)

14:05-14:25

活性酸素産生酵素 NADPH oxidase 欠損による高血圧モデルラット SHRSP への影響

○藤川晃一 (島根大学・病態病理学講座)

14:25-14:45

緑内障における眼局所および全身のレドックス反応の検討

○高井保幸 (島根大学・眼科学講座)

講演第2部 (15:00-17:00)

座長：高井保幸 (島根大学・眼科学講座)

15:00-15:20

AGEs センサで測定した最終糖化産物スコアと糖尿病網膜症病期の関連

○高柳佑士 (島根大学・眼科学講座)

15:20-15:40

指尖経皮蛍光測定技術を用いた各種臨床研究への応用について

～AGEs センサについて～

○山中幹宏 (東海大学農学部バイオサイエンス学科)

15:40-16:00

黄斑円孔における黄斑色素所見

○野間沙樹 (聖隷浜松病衣音)

16:00-16:20

ベジメータを使用した皮膚カロテノイド量の測定

○尾花 明 (聖隷浜松病院)

16:20-16:40

皮膚カロテノイド量に影響する性・年代・地域別の要因

○岡田恵美子 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)

国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部)

16:40-17:00

小学生一般集団における皮膚カロテノイド測定の意味

○武内治郎 (兵庫医科大学・臨床疫学講座)

特別講演 (17:15-18:15)

座長：尾花 明 (聖隷浜松病院)

酸化脂質と疾患について～検出から創薬展開まで～

山田健一先生

(九州大学大学院薬学研究院 教授, AMED-CREST)

視聴希望の方は事務局宛メール (iku@med.shimane-u.ac.jp 岩谷) にお申込みください。

7月末日までにお申込みのメールに視聴URLをお送りします。

(8月6日までにメールが届かない場合は眼科学講座 TEL 0853-20-2284 までお知らせください。)

【大学院講義対象科目】

修士課程選択科目：

再生医学・組織工学(M13), 医療のための光工学の基礎(M29)
理工医学のための生物材料学の基礎(M33)

博士課程選択必修科目：

臨床医科学(D5)

博士課程選択科目：

老化Ⅱ(D20), 医療のための光工学(D99)

理工医学のための生物材料学(D103)